# < 2 0 0 9 年度研修実績 >

## 1)【メディカルセーファー(RCA)の教育研修が行われました】

2010年3月1日、テプコシステムズ医療安全推進担当田島英明先生によるメディカルセーファー(事故原因分析)の研修会が実施されました。各共済病院及び久留米大学より医師、看護師、臨床工学士、理学療法士、診療放射線技師、臨床検査技師の方が講義とグループワークによる教育を受けました。メディカルセファーは各部署の事例からより安全なシステムを築き上げていく力を付けるきっかけになったと考えられます。



## 2) 【九州・四国・中国出張研修が行われました】

平成 21 年度九州・四国・中国出張研修が浜の町病院において 2010 年 1 月 21、22 日 に行われました。患者急変対応コース、人工呼吸器トラブルシューシュティング(BRTS)、AHA BLS HCP コースの 3 プログラムに 56 名の受講者が研修を受けました。受講者の評価は良好でこの研修を通して今後もシミュレーション教育の有用性と必要性を広く広めて行きます。







## 3)【人工呼吸器アラーム対応研修が行われました】

人工呼吸器アラーム対応研修が 12 月 4 日に虎の門病院川畑雅照分院内科総合診療科 (呼吸器科) 部長の指導により北海道大学救急部集中治療科看護師長高岡勇子氏他1名 の見学を向え実施されました。

国家公務員共済組合連合会 シミュレーション・ラボセンター長 虎の門病院 医療安全アドバイザー 中西 成元



## 4) 【JRC AHA ACLS HCP コースが行われました】

JRC AHA ACLS HCP コースが 9 月 11 日 12 日にコースディレクター大森正樹ラボマネジャーにより開催されました。





## 5)【2009年度近畿・中部出張研修が行われました】

2009 年度近畿・中部出張研修が名城病院において 9 月 17、18 日に行われました。 患者急変対応コース、人工呼吸器トラブルシューシュティング(BRTS)、透析時患者対応コース(HDLS)、AHA BLS HCP コースの4プログラムに 52 名の受講者が研修を受けました。受講者の評価は良好で今後もこの研修を続ける予定であり、これを通じてシミュレーション教育の有用性と必要性を広く広めていくつもりです。







## 6)【第4回 医療安全管理者研修が行われました】

6月22日~26日まで5日間(40時間)の安全管理者研修が187名の受講者を得て実施されました。厚生労働省の医療安全管理者の養成のための研修プログラム作成指針に則り、プログラムを組み立て、講義、グループ討議、グループワーク、シミュレーション研修等を取り入れた内容としました。今回は医療提供者のコンディションが重要であるとの思いから労働環境についても学ぶことにしました。最終日には今回最も力を入れた事故後対策、院内事故調査委員会のあり方について、この方面の最も見識ある方々にパネルディスカッションをして頂き、現在どこに問題があるかを明らかにして頂きました。医療安全への取り組みは緒に付いたばかりです。そのことが分かって頂いた研修になったと思っております。今後も安全管理者研修を開催し、医療の質・安全を広い視野で担うことのできる人を育てたいと考えております。









#### 7)【第3回 シミュレーション教育出張研修が行われました】

6月4、5日シミュレーション・ラボセンターの第3回出張研修が今回は KKR 札幌医療 センターで行われました。

昨年7月に行いました北海道出張研修に続き北海道では2回目となります。

KKR 札幌医療センター斗南病院からも参加頂き、延べ 60 名の方が受講されました。研修内容は、AHA BLS と 2 つのオリジナルシナリオを使用した研修を行いました。受講生からはシミュレーターを使用しての研修は思っていたものとは違い、実践に近く今後の現場に大変役立つものであったとの感想も多く聞かれました。中には、自分もこのようなチームに参加したいという方もおりスタッフー同喜んでおります。

今年は、九州・四国・中国地区及び近畿・中部地区へも出張研修を行う予定です。

多数の方が研修を受講され、このオリジナルシナリオがより充実したものとなり、更に 皆様のお役に立てるよう努力して参りたいと考えております。









## 8) 【2009 年度 新人研修医研修が実施されました】

第4回新人研修医研修が4月3、4日実施されました。今回は8病院(東北公済病院、九段坂病院、立川病院、東京共済病院、横浜南共済病院、横浜栄共済病院、平塚共済病院、 虎の門病院)70名の参加者に、2日間で述べ71名の指導医で行いました。

初日は、挿管、CV 挿入、腰椎穿刺、動脈採血、血管確保、縫合、BLS の7つのタスクを、2日目には ICLS 認定コース (虎の門病院藤本肇コースディレクター) のもとで研修が実施されました。

満開の桜に囲まれた気持ちの良いラボセンターで2日間、頭と身体を使った研修が行われ、研修医からは自分がいかに実技ができないかということと指導医の研修に対する情熱を感じてもらうことができました。2年間の研修中にさらに多くのプログラムを通して自ら気付くことで臨床能力を高めて頂く予定です。







